

「急性期病院における看護必要度と転倒予測 Ai システムのスコア比較」の研究について

1. 研究の対象

2023 年 4 月から 10 月に当院に入院されていた患者さん

2. 研究目的・方法

入院中は、入院の原因になった病気や怪我に伴う身体機能の変化や生活リズムの変化、更にその変化によって一時的に意識や認知機能が低下するせん妄といわれる症状などが誘発され、転倒転落が発生しやすい状況となります。入院患者さんも高齢の方が多く、入院時の転倒転落発生件数も年々増加しています。入院患者さんについては看護師が「看護必要度」について毎日評価を実施しており、「看護必要度」は非効率や粗診粗療を避けつつ、手厚い看護や医療資源投入が必要な患者に適切にいきわたり、そのような患者さんを受け入れている医療機関に対して適切に診療報酬が分配されるための“ものさし”としての役割を担っています。日常生活について評価を行う項目についても存在し日々評価を行っています。しかしながら、人員や業務量の問題もあり急性期病院における転倒転落予測に関しては、「看護必要度」だけでは評価が追いつかないことが懸念されていた為、当院では昨年度より転倒転落予測 AI システム Coroban®を導入いたしました。

本研究は過去の電子カルテ内の情報である看護必要度および看護記録と Ai が予測する転倒転落予測システムの結果を比較検討しよりよい評価を見出すことによって、今後の転倒転落を引き起こしてしまう患者を可能な限り予測し予防することを目的としています。

研究期間は、病院長許可日から 2025 年 3 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

入院から転倒するまでの期間、転倒転落アセスメントシートと Coroban®、両評価法のスコア
診療録: 転倒転落アセスメントシート、入院日、転倒日、性別、年齢、Coroban®のスコア 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3 Tel：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 リハビリテーション技術科 鈴木亮馬